

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守した人数配置をしています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差がないように、不便を感じないように工夫しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全員の職員が参画できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、保護者にアンケートをお願いし、結果などを伝えてもらって改善すべきところは改善しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在は利用者・社内・（財）発達支援研究所の3者評価をとっております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的にテーマ別研修、事例検討会をおこなっています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々、話し合いの場を持ち、分析した上で放課後等デイサービスの支援計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			基本的には個別の活動ですが、「小集団活動や、イベントは職員全員で話し合い柔軟に対応しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化しないよう、お子さんが興味を持ち意欲的に取り組めるよう工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みの際の課題など確認しながら、きめ細やかに支援をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本的には個別活動ですが、小集団活動も取り入れ、計画を作成しています。 お子様、保護者様に納得していただけるような計画を心掛けています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必要に合わせて、指導員間で支援前後に関わらず、支援内容、分担、共有することなど、詳細にわたり、常時確認しています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		反省点や気が付いたことがあったら、支援後すぐ、利用者の情報共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録だけでは分からないときには、直接指導員から話を良く聞いています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に見直しを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドライン総則の再度確認を実施します。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者からのご希望があったときには学校と連携し、情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要な子どもが通っていませんが、今後増えていく可能性を考えると連携が必要。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて情報共有を実施しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在該当するお子さんが通っていません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関と連携を取り助言をいただいています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在実施しておりません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	機会がなく参加できていません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバックの時に詳しく子どもの様子を伝え、共通理解に努めています。</li> <li>・よく出来ているところ、苦手ところを伝え課題を確認するようにしています。</li> </ul>
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		事業所内相談支援で家族支援を行っており、対応の仕方などを助言しています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時と変更が生じた時に随時説明をしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援を行い、助言と支援を行っています。事業所内相談支援以外にも随時相談に応じています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に2回、パパママカフェを実施し、保護者様同士の連携を深めました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速かつ適切に対応して出来るように体制を整えています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ・ブログ・インスタグラムで発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類は鍵付キャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			工夫して伝達しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今のところ実施していません。
	非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
③⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一度、避難訓練を行っています。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設立し、マニュアルを作成。研修を実施しています。
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束マニュアルを作成し、保護者様に丁寧に説明をしています。
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、対象となるお子様がいないため、紙面での説明を実施しています。
④④		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書の作成、保管、改善を実施しています。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮校 保護者等数（児童数）：35名 回収数：33名 割合：94%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31		2	パーティションの取り外しを適宜行い、必要なスペースを確保していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33			法令を遵守した人数配置をしています。専門性も重視しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	11	1	床に物を置かないなど対応しています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	33			良く分析し、お子様お一人お一人に合わせた計画を作成しています。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	33			指導員それぞれが目標に応じて毎回工夫しています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	17	15	今のところ機会がなく実施されていません。今後検討していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33			定期的に保護者様に説明させていただいています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33			・フィードバックの時に詳しく子どもの様子を伝え、共通理解に努めています。 ・よく出来ているところ、苦手ところを伝え課題を確認するようにしています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33			事業所内相談支援を行い、保護者様に助言と支援を行っています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	13	5	年に2回パパママカフェを実施し、保護者様同士の連携を支援しました。今後も企画していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	1		苦情があった場合、真摯に受け止め丁寧に対応しています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33			的確に伝達できるように配慮しています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	1		定期的にホームページやインスタグラム、ライン等で情報発信をしています。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	33			個人情報が記載された書類は鍵付キャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っております。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	33			契約時に説明しています。教室内に掲示し周知しています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	8	1	職員、利用者様と 毎月1回避難訓練を行っています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	32		1	今後も、お子様が通所を楽しみにできるよう職員一同努めていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	33			お一人お一人の気持ちに寄り添った支援が出来るように職員一同努めていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。